

イモゾウムシについて

英名 : West Indian Sweetpotao Weevil
学名 : *Euscepes postfasciatus*

体長3.5mm位の甲虫で、さつまいもの大害虫として知られている。飛行能力はない。

【世界における発生地域】

中国、アメリカ、中南米

【主な寄主植物】

さつまいも属、あさがお属、ひるがお属植物の生茎葉及び生塊根等の地下部

【被害状況】

成虫はイモや主茎に小穴をあけ1個ずつ産卵し、ふ化した幼虫はさつまいもの内部や茎の中を食害する。食害されたイモは悪臭と苦みを生じるために、食用のみならず飼料用にもならない。

【我が国の状況】

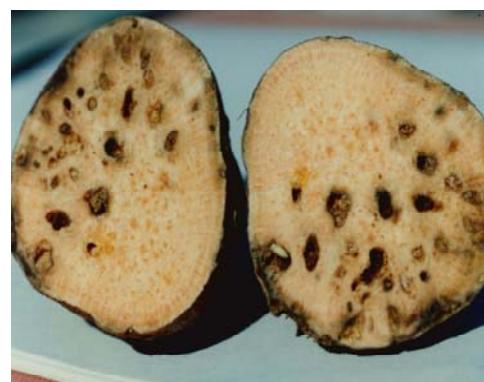
- 昭和22年に沖縄県内で発見報告。
- 奄美大島以南の南西諸島と小笠原諸島にのみ発生しており、沖縄県久米島及び津堅島において根絶事業を実施。
- 植物防疫法第16条の2及び第16条の3の規定に基づき、既発生地域からの移動を禁止又は制限。

【防除方法】

不妊虫放飼法、寄主植物除去法の組み合わせ。



成 虫



幼虫に食害されたさつまいも